

ヘヤーグロン

男性ホルモン剤

ご使用前にこの説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

「ヘヤーグロン」は、有効成分として男性ホルモンであるテストステロンを配合した医薬品です。

テストステロンの分泌は、男性の場合、一般的に第二次性徴期から急上昇した後、30歳頃まで旺盛ですが、その後は加齢とともに衰えて、40歳代後半から顕著に減少します。男性更年期や初老期のうつなど、性機能の衰えに代表される諸症状の発現は、この頃から多くなります。また、加齢が原因だけでなく、ストレスなどが原因で急激に分泌が衰えることもあります。「ヘヤーグロン」は、男性ホルモンの分泌不足を皮膚から補充して、分泌不足にともなう諸症状の改善が期待できる塗り薬です。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1. 次の人は使用しないこと

- （1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- （2）ご使用前に本剤をチューブから5mm程度出し、内股などの皮膚のうすい所にすり込んで、翌日中に薬疹、発赤、かゆみ、かぶれ、はれなどの症状が現れた人。
- （3）アンドロゲン依存性腫瘍［例えば前立腺腫瘍、乳腫瘍（悪性）］及びその疑いのある人。
- （4）排尿困難を伴う前立腺肥大のある人。
- （5）前立腺検査*の結果、前立腺特異抗原(PSA)の値が2.0ng/mL以上の人（医師の判断に従うこと）。
※本剤の有効成分（テストステロン）は前立腺腫瘍を進行させるおそれがあります。
a）特に50歳以上の男性は前立腺腫瘍の罹患率が高まるため、本剤のご使用前に前立腺検査を受ける必要があります。
b）継続的にご使用の人は定期的な検査を受ける必要があります。
c）検査の結果、異常があった場合には直ちに本剤のご使用を中止して、医師又は薬剤師に相談すること。
- （6）睡眠時無呼吸症候群である人。
- （7）妊婦又は妊娠している可能性のある女性、授乳婦。

2. 次の部位には使用しないこと

- （1）目や目の周囲、粘膜（口腔、鼻孔等）。
- （2）陰茎部先端（尿道口）。
- （3）外傷、炎症、湿疹、ただれ、化膿などのある患部。

3. 本剤を使用している間は、次の医薬品を使用しないこと

ワルファリンカリウム等の抗凝血薬

4. 使用者以外へ付着させないこと

- （1）ご使用後は石鹸とぬるま湯で手を十分に洗ってください。
- （2）本剤を使用者以外の人に付着させないように注意してください。付着した場合は直ちに洗い流してください。
- （3）塗布部が他の人と接触する可能性があるときは、塗布部を石鹸とぬるま湯で十分に洗い流してください。



相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談すること

- （1）医師の治療を受けている人。
- （2）前立腺肥大ではあるが、排尿困難を伴わない人。
- （3）薬などによりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、水疱など）を起こしたことがある人。
- （4）次の診断を受けた人。
重度の心臓病、腎臓病、肝臓病、高血圧、多血症
- （5）乳・幼・小児（骨端の早期閉鎖、性的早熟を来すおそれがあります）。
- （6）次の医薬品を使用している人。
他の男性ホルモン薬、5 α 還元酵素阻害薬

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

- （1）使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、水疱、にきび、脱毛、多毛、皮膚色調の変化
そ の 他	血圧上昇、頻尿

- （2）1ヶ月位使用しても症状の改善がみられない場合。
- （3）月経異常、あるいは変声等の男性化の兆候があらわれた場合。
- （4）睾丸萎縮、精子減少、精液減少等の症状があらわれた場合。
- （5）女性化乳房の兆候があらわれた場合。
- （6）誤った使い方をしてしまった場合。

■ 効能・効果 ■

男性ホルモン分泌不足による性器の神経衰弱の諸症即わち勃起力減退、早漏、陰萎、性欲欠乏、性感減退、遺精、
睾丸欠落症、先天性睾丸發育不全、脳下垂体性腺ホルモンが無効の潜伏睾丸、女性恥部無毛症、乳汁の分泌抑制。

【用語の解説】

「勃起力減退」とは勃起機能の衰えを指します。

「陰萎」とは陰茎の張力の低下や勃起の低下を指します。

「遺精」とは勃起が不十分なうちに射精してしまうことを指します。

「潜伏睾丸」とは両側の睾丸が腹の中に停留していることを指します。

■ 用法・用量 ■

適当量を局所に塗擦する。

【注 意】

(1) 定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。
なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。

(3) ご使用前には、手指をよく洗ってください。

(4) 塗布部を清潔にしてからお使いください。

(5) 外用にのみ使用してください。

■ 詳しいご使用方法(推奨) ■

	男 性	女 性
チューブから指先 に取り出す長さ	7 mm/回(右図参照)	2 mm/回(右図参照)
用 法	2 回/日(朝・晩) 症状改善後は 1 回/日	1 回/日
塗 布 部	陰のう、顎下又は腹部等	患 部
	全体によくすり込んでください。	粘膜膜への塗布を避けてください。



■ 成 分 ■

1 g 中に次の有効成分を含んでいます。

有 効 成 分	1 g 中	本 質
テ ス ト ス テ ロ ン	10mg	男性ホルモン

添加物として白色ワセリン、サラシミツロウ、ステアリルアルコール、セタノール、コレステロール
を含有する。

■ 保管及び取扱い上の注意 ■

1. 直射日光をさけ、湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
2. 小児の手の届かない所に保管してください。
3. 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります)
4. 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。
5. 本剤が出すぎた場合は、チューブに戻さないでください。
6. チューブから出しにくい場合は、手のひらで1～2分温めてください。

— お問い合わせ先 —

大東製薬工業株式会社 お客様相談室

電話 0120-246-717

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00

(土、日、祝祭日、弊社休業日を除く)

製造販売元  大東製薬工業株式会社

山梨県甲府市川田町字正里624番地2 (アリア207)

裏面もお読みください。